



2025年12月・2026年1月受入れ

新着図書のご案内

姫路市立城郭研究室

「江戸の放火」

永寿日郎
原書房



「BanCul No.138 2026 冬号

因幡街道（若桜往来）を行く」
姫路市文化国際交流財団

「お家相続」

大森映子
吉川弘文館

「平安時代の建築・手工業生産と家産制」

古尾谷知浩
塙書房

「地図中心 639」

日本地図センター

「相馬藩世紀 第3」

岩崎敏夫・佐藤高俊/校訂
八木書店

「幕末維新史への招待 全国諸藩編」

町田明広
山川出版社

「藩政史研究の課題 岡山藩と萩藩」

田中誠二
塙書房

「日本系譜綜覧」

日置昌一
名著刊行会

「増補版 利休の手紙」

小松茂美
小学館

「色」

前田雨城
法政大学出版局

「近世大工の系譜」

内藤昌
ぺりかん社



「近世後期の世界認識と鎖国」

岩崎奈緒子
吉川弘文館

「建築研究協会誌 39」

建築研究協会



今月のおすすめ本紹介！！

「秀吉と豊臣一族研究の最前線」

日本史史料研究会/監
山川出版社



NHK 大河ドラマ「豊臣兄弟！」は、豊臣秀吉とその弟の秀長に焦点を当てた内容で、2026年1月より放送が始まりました。兄弟ともに姫路城の城主を務めるなど、姫路城とも密接な関係にあります。大河ドラマは、実在した人物や時代背景をリアルに体感できる反面、演出のために史実と異なる脚色が描かれることもあります。そこで参照いただきたいのが本書です。研究の最前線を知るとともに史実と脚色の違いを理解できることでしょう。大河ドラマをより一層楽しむために、是非ご一読ください。

物語ものの建築史「建具のはなし」

山田幸一/監 高橋康夫/著
鹿島出版会

日本の歴史的建造物に注目すると、時代が下るにつれて構造形式が発展するのはもちろん、同時に建物を構成する細部の構造や意匠にも発展が見られます。本シリーズは、その細部に着目した内容となっており、本書では「建具」に焦点が当てられています。現存する事例の他、絵図に描かれたもの、古文書の記述を頼りに、建具の構造や意匠、使われ方についての歴史的な変遷を紹介しています。現存事例の少ない庶民の間で流行した建具についても紹介があり、興味深い内容になっています。

- ※ 上記の図書は、日本城郭研究センター2階 城郭資料特別閲覧室にて閲覧していただけます。
- ※ 貸し出しはしていません。
- ※ 開室時間は、月曜日から金曜日 9:00~12:00 13:00~17:00
- ※ 土、日曜日・休日・年末年始は閉室しています。
- ※ 上記の図書以外にも姫路城や姫路の歴史に関する蔵書など貴重な書物をたくさん収蔵していますので、興味のある方は、是非お越しください。
- ※ 城郭研究室への問い合わせ先及びホームページは、下記のとおり。



姫路市立城郭研究室（日本城郭研究センター2階）

TEL 079 (289) 4877

URL <https://www.city.himeji.lg.jp/jyokakuken>